

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

全ての児童において、

- 基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。
 - ・令和3年度全国学力学習状況調査(国語)における「知識・技能」において、令和2年度より自校の平均正答率を1pt以上向上させた値とする。
- 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・令和3年度全国学力学習状況調査(国語)における「思考・判断・表現」において、令和2年度より自校の平均正答率を1pt以上向上させた値とする。
- 主体的に学習に取り組む態度を涵養する。
 - ・自校アンケートにおける、「国語の学習は好きですか」の肯定的な回答の数値を令和2年度の値より5pt向上させた値とする。

具体的な手立て

- ①学校課題研究「国語」を中心とした校内研修を軸に、授業改善を行い、主体的に生き生きと表現できる児童を育成する。
- ②「よい授業」の4つの因子を踏まえて、学習活動の充実を図る。
- ③「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」の推進を図る。
- ④朝学習の時間に、スキルアップタイムを設定し、書く活動を通して、思考力・表現力の育成を図る。
- ⑤家庭学習の機会を確保できるよう、保護者の協力と理解を得ながら、基礎学力の定着を図る。

結果

- ・全国学力学習状況調査(国語)における「知識・技能」
令和2年度70.6pt → 令和3年度71.7pt(△)
- ・令和3年度全国学力学習状況調査(国語)における「思考・判断・表現」
令和2年度74.3pt → 令和3年度69.6pt(▼)
- ・「国語の学習は好きですか」
令和2年度66.8pt → 令和3年度67.0pt(-)

今年度の振り返り・次年度に向けて

知識・技能において成果指標を達成することができた。思考・判断・表現等については、学校課題研究を中心に、児童が自分の思いや考えを主体的に表現していこうとする意欲を高めることはできた。

次年度は、個別最適な学びの機会を設け、児童が能動的に学習に取り組めるようにしていく。